

国際実務実習研修

米国 ノースカロライナ大学 チャペルヒル校



ノースカロライナ大学では、アメリカの中でも特に先進的な薬学教育が行われています。日本では2010年から認められた業務「診察と検査オーダー」「処方オーダー」「ワクチン接種」が、アメリカでは10年以上前から行われており、薬剤師が医療により深く関わっています。

本研修では、アメリカにおける薬剤師業務を見学し、アメリカの薬学生との討論を通じて、薬剤師が医療の中で果たすべき役割について考える良い機会になると考えています。

研修期間・費用について

研修期間 2020年2月24日～3月11日
研修対象 薬学科 5・6年次生
催行人数 6名程度
参加費用 約40万円 ※1

※1 参加費用は為替レート、航空運賃等の変動の影響により、変更が発生することがあります。



海外研修を終えて 藤岡 真依さん(2016年3月卒業)

私は5年次生の実習終了後に国際実務実習研修に参加しました。日本で薬剤師になるために必要な実習を終えた私は、病院や薬局における薬剤師の役割を十分理解しているつもりでした。そのため、ノースカロライナ大学(UNC)において、アメリカの薬剤師の仕事内容を見て、日本との違いにとっても驚きました。

例えば、輸液を混ぜるのは日本のように薬剤師ではなく、テクニシャンと呼ばれる立場の人たちであることや、薬局において薬剤師が患者さんにインフルエンザの予防接種を行っていたことなどです。

UNCの薬学生はノートパソコンを持ち込み、あらかじめダウンロードした講義資料に学んだことを入力するという方法でノートを取っていました。

私たちは普段、受動的に講義を受けていることが多いと思うのですが、UNCの講義は教授とディスカッション形式で行われており、学生たちが積極的に発言して講義に参加しており、アメリカの薬学生の学ぶ姿勢に大変感銘を受けました。

今回の研修を通じて、複数のアメリカ人の友人ができました。そして、帰国後も連絡を取ることでお互いが刺激を受け合う仲間になっています。この貴重な体験によって、将来、薬剤師として働くことを目指す者としての視野を広げることができました。そして、あらためて日本の薬剤師の在り方を考えることができるようになり、かけがえのない経験になりました。



本人左から2番目